

福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第2回体験イベント 「竹の管理と工作づくり」

- 1 日 時 平成29年7月16日（日）9：00～12：00
- 2 場 所 福井ふるさと学びの森（若狭町気山）
- 3 参加者 小学生親子33名
- 4 講 師 萩原 茂男さん（ふるさと研究員）
- 5 内 容

（1）竹についてのお話

竹林の中で、講師の萩原さんが竹の構造や生態、特性、種類について紙芝居を用いて説明をしました。さらに、昔の人は里山で竹を増やし、利用していたこと、最近は竹の利用が減少し、竹害が問題となっていることについても紹介しました。参加者は初めて聞くことばかりで、うなづきながら萩原さんの話を聞いていました。



（2）竹を使った工作づくり

今回は、伐採した竹を使ってテポナストリ、竹こっぽり、かっこう笛を作りました。まず、ノコギリで竹を必要な長さに切り分けました。ノコギリを初めて使う子供たちも多く、子どもたちは竹を切る感触を楽しみながら竹を切りました。

テポナストリは穴をあける数と間隔および切り目の入れ方により音が全く違ってきます。参加者は、穴の開ける位置、切り目の入れ方を工夫し、オリジナルのテポナストリができました。テポナストリ、竹こっぽりともに親子で力を合わせて作成しました。

かっこう笛は、竹を削る角度と竹の接着位置により音が鳴るため、参加者は試行錯誤しながら何度も竹を削り直し、音になる位置を探しました。三つの中では最も作成するのに苦労しましたが、「一番楽しかった」、「音になった瞬間が本当にうれしかった」という意見が多かったです。

